

令和3年度決算に係る

定期監査資料

令和4年5月

消防防災航空センター

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	職員の定員、現員調べ	1
4	役付職員の調べ	1
5	主な事業に関する調べ	2
6	現金の取扱状況	4
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
7	財産に関する調べ	4
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
8	財産の貸付け及び使用許可調べ	5
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
9	借受不動産明細調べ	5
10	職員駐車場の管理状況調べ	6
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
11	寄附物件の受納状況調べ	6
12	備品の処分状況調べ	6
○	意見、要望等	6

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
- (2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況 該当なし

3 職員の定員、現員調べ

（令和4年4月1日現在）

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	3.4.1現在	当該年度	3.4.1現在	当該年度	3.4.1現在	当該年度	3.4.1現在	
定員	1	1	0	0			1	1	
現員	( ) 1	( ) 1	(8) 8	(8) 8	( )	( )	(8) 9	(8) 9	技術吏員は航空隊員で県内消防局と併任
過不足(Δ)	0	0	8	8			8	8	
臨時的任用職員									
会計年度任用職員	2	2					2	2	消防防災・運航安全専門員 1名 事務員 1名

4 役付職員の調べ

（令和4年5月1日現在）

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
所長	国本 忠史	2	1	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算見込額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
消防防災ヘリコプター運航費	270,783	—	9,000	123	261,660
将来ビジョン	—				
令和新時代創生戦略	大項目 — 中項目 — 小項目 — SDGsゴール —				
政策項目	—				

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

消防防災ヘリコプターが持つ高速性・機動性を活用し、迅速で効果的な救急・救助・消火活動等を行うことにより、県民の安全・安心を確保する。

(イ) 事業の実施状況

① 消防防災ヘリコプター「だいせん」(機種：AW139)の運航

<運航体制等>

- ・運航日(体制)：365日体制(ただし、定期点検等による運航不能期間を除く。)  
※本県防災ヘリが運航不能の場合は、相互応援協定により島根県防災ヘリ等が出動する。
- ・運航時間：原則 8：30～17：15(緊急時等日の出から日没)
- ・運航管理責任者：消防防災航空センター所長
- ・消防防災航空隊：各消防局から派遣(隊長1名、副隊長2名、隊員5名)
- ・運航方法：民間運航会社に委託(操縦士2名、整備士3名、運航管理担当1名)

② 救急救命士の資格を有する隊員の配備(平成24年度～)

現在、3名(東部、中部及び西部消防局から各1名)の救急救命士の派遣を受けており、初動に救急処理等を行える体制を図り、救命率の向上に努めている。

③ 中国5県等による防災ヘリ運航不能時相互応援体制の推進

島根県と相互応援協定を締結し、本県ヘリが法定検査等で運航不能となった時には島根県防災ヘリの出動を要請できるようにしている。また、両県ヘリが同時に運航不能となることもあるため、中国5県で運航不能時の相互応援協定を締結しており、中国管内での応援体制を整備している。また、平成31年4月1日に兵庫県とも同様の応援協定を締結し、相互の応援体制の充実を図っている。

※相互応援等(緊急消防援助隊の活動含む)の件数(令和3年)

応援件数…島根県11件、広島県2件、兵庫県1件

受援件数…島根県9件、広島県1件、兵庫県2件

④ 医師が防災ヘリに同乗する運用の取組(平成16年度～)

県立中央病院、県立厚生病院、鳥取市立病院及び鳥取大学附属病院と協定を締結し、消防防災ヘリに医師が同乗することができる体制を整備している。さらに、関西広域連合共同運航のドクターヘリ(兵庫県豊岡病院)とは、医師が同乗に加え、平成30年度に医師がホイスト(ワイヤーによる吊り上げ・吊り下げ装置)で現場に投入できる協定を締結し、より連携した活動を行うことができる体制を構築している。

イ 令和3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

① 県立中央病院との連携の強化

令和3年7月に県立中央病院との覚書を改定したことにより、訓練を行った医師をホイストで現場に投入できるようになり、早期医療介入を可能とした。(令和3年に現場活動3回実施)

② 他県防災との合同訓練の実施

耐空検査で自隊訓練ができない期間などで、同じ機種（AW139）で活動を行っている三重県防災航空隊、広島県防災航空隊等と技量の維持及び向上を図るための合同訓練を実施した。

（三重県との合同訓練：7月鳥取県で、12月三重県で実施。広島県との合同訓練：12月広島県で実施。）

ウ 成果及び効果

○成果

- ヘリコプターの機動性・高速性を活かした活動により、次の点などで成果を出している。
  - ・山岳遭難や水難事故など地上隊では対応に時間を要する事案に対し、早期に救助等を実施。
  - ・消防車が進入できない林野火災などで、上空からのバケットによる消火活動により延焼を防止・消火。
  - ・地震や豪雨、林野火災等の災害時に上空から広範囲の情報収集（ヘリテレ）を実施。

○令和3年消防防災ヘリコプター運航実績（R3.1.1～R3.12.31）

区 分	活動内容等	運航件数
災害応急対策	風水害・地震等の被害調査等	3件
火災防御	林野火災等の空中消火及び情報収集	6件
救急	傷病者の搬送、医師同乗による高度医療機関への転院搬送	27件
救助	山岳遭難、水難事故等の捜索・救助活動	38件
広域航空応援等	他県への応援出動（島根県、兵庫県、広島県）	14件
緊急運航計		88件
上記以外（通常運航）	消防防災訓練、自隊訓練、一般行政活動など	172件
合計		260件

エ 課 題

○消防防災ヘリコプターの安全運航

平成27年12月に更新した新機体（AW139）は、旧機体（ベル412EP）と比べて、性能やエンジン出力が大幅に向上したが、反面ダウンウォッシュが強くなっており、引き続き、安全面を最優先に考えて運航（活動）を行っていく必要がある。

6 現金の取扱状況

- (1) 現金取扱状況 該当なし
- (2) つり銭の状況 該当なし

7 財産に関する調べ

(1) 公有財産

- ア 土地 該当なし
- イ 建物 該当なし
- ウ 山林 該当なし
- エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機） 該当なし
- オ 物権 該当なし
- カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等） 該当なし
- キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有  無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和4年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
30枚	0枚	2枚 7,220円	28枚

注 鳥取県物品事務取扱規則第3条第2項第3号に規定する金券類について記載すること。

8 財産の貸付け及び使用許可調べ  
 (1) 土地及び建物  
 了 土地

(令和4年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付目的 (使用許可)	所在地	数量又は面積	貸付年月日 (使用許可)	当初貸付年月日 (使用許可)	貸付期間 (使用許可)	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏名	住所名	
行政財産	自動販売機の設置	鳥取市湖山町北4丁目344番地2	1.58平米	R3.4.1	H28.10.28	R3.4.1 ~R8.3.31	身懸・年額 2,482	2,482	鳥取市湖山町北4丁目667番地14 株式会社戸信		
計							月額・年額	2,482			
普通財産							月額・年額				
計							月額・年額				
合計								2,482			

イ 建物 該当なし

9 借受不動産明細調べ

(令和4年3月31日現在)

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約の状況			借受先		備考	
					契約書の有無	借受期間		借料(円)	住氏名		住所名
						単価	本年度の借料				
建物	共同住宅	派遣隊員宿舎	鳥取市湖山町東1丁目647-5	3室 (各25.77平米)	有	H29.3.2 ~H30.3.19 ( ~R4.3.19)	月額・年額 141,000	1,692,000	鳥取市湖山町北1丁目427-1 株式会社エル・オフイス	※203号室は3/29 ~翌年3/28まで ※207号室は3/25 で解約	
建物	共同住宅	派遣隊員宿舎	鳥取市湖山町南2丁目697	1室(57.07平米)	有	R4.3.25~R6.3.25	月額・年額 64,000	78,450	鳥取市富安1丁目1 23グランマスト富安2F 積水ハウス不動産中国四国株式会社	※世帯用物件 ※3月分(日割り)と4月分賃料を支払い ※他安心サポート24(役務費・月額770円×2月分)	
合計								1,770,450			

10 職員駐車場の管理状況調べ 該当なし

11 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

12 備品の処分状況調べ

(令和4年3月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不 用 決 定 年 月 日	処 分				備 考	
			売 払 棄 却 の 別	売 払 方 法 ・ 棄 却 理 由	処 分 年 月 日	売 払 額		処 分 費 用
低周波洗浄器他3点	H10.2.27他	R3.6.28	棄却	経年による故障・動作不良のため	R3.6.28		0円	産業廃棄物として処分
航空用ヘルメット11点	H21.2.19他	R3.6.28	売払	ヘリ機体更新に伴い接続に不具合があり使用不能となったため	H29.10.19他	391,528 円		H29に官公庁オークションで売却済み
消火バケツ他1点	H20.3.25他	R3.10.12	棄却	経年による故障・動作不良のため	R3.10.12		0円	産業廃棄物として処分
合 計						391,528 円	0円	

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等  
特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等  
特になし